



ギャラクシー賞/NPO放送批評懇談会 ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

## ギャラクシー賞入賞作品を聴いて、語り合う会 Vol.19

# これがラジオの底力

ラジオ放送が始まって今年で90年。ラジオ番組とは制作者が「伝えたいこと」を「人の声を使って」作った音声作品です。良いラジオ番組は、数十年の時を経ても色褪せないものです。

ギャラクシー賞ラジオ部門委員会では、聴く機会の少ないギャラクシー賞入賞作品を聴いて、その制作者にお話を伺い、ともに語り合う会を毎年開いています。

今回は第52回ギャラクシー賞ラジオ部門優秀賞受賞作品の試聴とその制作者をお招きして番組や制作に関して自由に意見を交換し、語り合いたいと考えています。

参加をご希望の方はこの用紙に必要事項をご記入の上、FAXにてご返送ください。

ラジオ関係者に限らず、多方面からのご参加をお待ちしております。

### 試聴番組とゲスト

#### ◆「花は咲けども～ある農村フォークグループの40年～」山形放送（大賞）

##### ゲスト：伊藤和幸さん（山形放送 報道制作局制作部次長）

震災後の苦悩を見事に描き、東北と中央の理不尽な関係を浮き彫りにし、「影法師」という“おやじ4人組”アマチュアフォークグループが歌う「花は咲けども」に込めた思いを伝えています。中央の人たちは、東日本大震災と福島第一原発事故をどう受け止めたのか、番組は鋭く突きつけてきます。五穀豊穡の願いを再確認させられ、真の地方創生とは何かを考えさせられる作品。歌の力と言葉の力をエネルギーとした、ラジオの持つ本来のパワーを十分に発揮した問題提起ドキュメンタリーです。

#### ◆「風の男 BUZAEMON」南海放送（優秀賞）

##### ゲスト：小倉健嗣さん（南海放送 メディア放送センター部長プロデューサー）

クオリティの高い歴史ミュージカルです。「武左衛門一揆」という200年以上前の事件を、当時の情景が目に浮かぶように構成。脚本と演出が冴え、地元ならではの視点が光ります。めまぐるしく勃発する事件も、老婆役の狂言廻しがわかりやすく、味わい深く紹介。ヒップホップ音楽がドラマの彩りとなっていて、その音楽センスに脱帽します。対立する武士と農民、山のモンと百姓。それぞれの葛藤は現代にも当てはまり、意外なラストも秀逸。上等な推理小説を読んでいるような興奮を覚えました。

◇日時 7月26日（日）午後1時～午後5時 開場：午後0時30分

◇会場 赤坂 TBSセミナー室（TBS放送センター11階）

◇参加費 お一人 1,500円（学生 1,000円）



◇日時 7月26日(日) 午後1時～午後5時 開場：午後0時30分

◇会場 赤坂 TBS セミナー室 (TBS 放送センター11階)

◇参加費 お一人 1,500円 (学生1,000円)

\*TBS 放送センター入口の受付にて、当日精算となります。

終了後、各自負担で懇親会を予定しております。

詳細は当日お知らせいたします。

◇協力 TBS ラジオ&コミュニケーションズ

◇主催・問い合わせ (TEL.03-5379-5521)

NPO法人 放送批評懇談会

ギャラクシー賞ラジオ部門委員会



参加ご希望の方は本用紙に必要事項をご記入の上、下記ファクスでご返送ください。  
またメールでも受け付けております。件名は「聴く会参加希望」として、本文にお名前、所属、連絡先をご記入の上、下記メールアドレスにお送りください。ファクスで複数名ご参加の場合は、お手数ですが、本用紙をコピーの上お申し込みください。

メール info@houkon.jp

▼申込記入欄 (懇親会はどちらかに○をお願いします)

お名前
所属
連絡先
懇親会                      出席    ・    欠席

FAX 03-5379-5510 (放送批評懇談会事務局)

このままFAXしてください!

(※切：7月21日(火)但し、定員になり次第締め切らせていただきます。)